

報道機関各位

2008年7月22日

株式会社サーラコーポレーション

【7月26日ジュビロ磐田戦における廃食用油（使用済てんぷら油）のリサイクル活動】

昨年10月よりガステックサービス㈱（代表取締役社長：神野吾郎）とサーラ物流㈱（代表取締役社長：伊藤光夫）は、地球温暖化防止と資源循環型社会構築に貢献する取組みとして廃食用油からバイオディーゼル燃料への再生リサイクル事業を開始しております。

今回、当社は㈱ヤマハフットボールクラブの7月26日ジュビロ磐田 vs 東京ヴェルディ戦においてマッチデースポンサーという企画に参加することになりました。つきましては、ジュビロ磐田とサーラグループで実現できる地球温暖化防止に向けてのエコ活動として廃食用油からバイオディーゼル燃料へのリサイクルに取り組めます。観戦されるお客さまへジュビロ磐田のホームページ (<http://www.jubilo-iwata.co.jp/>)、プレスリリースなどにより事前に案内し、家庭用の廃食用油を試合当日、磐田市内のヤマハスタジアム内で回収します。なお、廃食用油は、循環資源として有価物で取り扱います。

当グループでは廃食用油を、7月現在約3,400ℓ/月の回収をさせて頂いております。精製したバイオディーゼル燃料は、サーラ物流㈱で主に運搬の車両に利用しております。バイオディーゼル燃料は植物系の燃料である為、※カーボンニュートラルとされ、地球温暖化防止協定上のCO2排出量がゼロカウントとなります。現在の回収量から精製できる数量は約3,200ℓ/月になります。精製量から計算されるCO2の削減量は、年間約102トンと見込まれます。今後も当社としては、本事業を通じて積極的に地球温暖化防止に取り組んでまいります。

CO2の増減に影響を与えない性質のことを「カーボンニュートラル」と呼びます。植物などの生物に由来する燃料を燃焼させるとCO2が発生しますが、その植物は成長過程で光合成によりCO2を吸収しており、ライフサイクル全体で見ると大気中のCO2を増加させないという性質です。

〈別添資料〉

(株)ヤマハフットボールクラブプレスリリース内容

〈本件に関する問い合わせ先〉

株式会社サーラコーポレーション 経営企画室 企画グループ

柘 植 幹 仁 (ツゲヨシヒト)

〒441-8021 豊橋市白河町100番地

TEL 0532-33-8877 FAX 0532-32-5270

Email yt05278@sala.jp